

6月の話題は、松枯れと、国際照葉樹林サミットとエコパークです。

### 松枯れ倒木の事故を防ぐために

本村地区の島民有志は、地区に枯れ松調査を提案し、了解を得た上でボランティアでの枯れ松調査に臨みました。また、湯向地区については、地区島民1名が調査に参加し、両区合同での調査となりました。調査報告は地区に提出しました。一部の結果を図にしましたので、掲載します。GPS機能がついたカメラで撮影し、地図にしたものです(下の図)。撮影枚数は、252枚(図ではピンで示す)、4~6本まとめて撮影しているので、少なくとも750本の危険な枯れ木があります。調査後にも倒木が発生しています。人身事故が起これば大変なことです。実際にも、バイクに乗っていて倒木に直撃されて死亡した平成13年の事例では、裁判となって被害者が勝訴しています。

事件は、県道ぞいの森林組合の木が倒れ、バイク運転者が死亡したものです。A県の主張は、定期的にパトロールしていた、土地所有者に伐採させていた、倒れることが予見できるような状況ななかった、年間最高レベルの風で倒れた……などとして、不可抗力であって県の責任はなかったと主張していました。それでも、A県は敗訴しています。

心配なことは、被害者が出ることです。加えて観光客などから本村区が訴訟されることです。被害を防ぐためにも、責任を問われないようにするためにも、出来ることはやっておいた方が良いでしょう。



枯れ松1本にピン1つではなく、何本かの松をまとめて撮影しています。また、ピンの本数は252ですが、撮影箇所が近いと重なります。調査は、岩屋泊や番屋が峯、町営牧場などへの道路は未調査です。

## 国際照葉樹林サミット

6月6日～8日にかけて、宮之浦で、第2回の国際照葉樹林サミットが開催されました。

サミットでは、口永良部島を代表して貴船 森さんが、島の現状を報告しました。とても好評で、参加者からの評判は上々でした。また、「えらぶ年寄り組」は、玄関のホールにポスターを貼り出して、「年寄り組の活動」や口永良部島を紹介しました。いずれ、ポータルサイトに掲載します。

口永良部島には、広大な照葉樹林が広がっています。

島の照葉樹は、なんといってもスダジイです。一周道路からもスダジイが目立ちます。山麓にはスダジイの他にホルトノキ、タブノキが多く、中腹からは、ヤブツバキ、7、8合目(標高では500mあたり)から上にはヒサカキの森が広がります。スダジイの多くは、戦後伐採され、今ある樹林は2次林です。

**照葉樹**(常緑の広葉樹で葉の表面の照りが強い樹木) 口永良部島で見られる照葉樹は、

スダシイ、マテバシイ、タブノキ、ホルトノキ、モチノキ、クロガネモチ、コバンモチ、ツバキ、モッコク、オガタマノキ、ユズリハ、シキミ、サカキ、ヒサカキ、ハマヒサカキ、ヤブニッケイ、ハマビワ、ヤマビワ、フカノキ、シャリンバイ、トベラ、モクダチバナ(パカギ)、タイミンタチバナ、クロキ、イボタ……などがあります。照葉樹林では、樹の下は日陰になるので、シダ、ラン、ウラシマソウ、センリョウ、マンリョウなどが茂っています。

## エコパーク

サミットでは、町長が「町は、ユネスコ・エコパークの延長を申請すること、エコパークの申請には口永良部島も加える」と宣言しました。7月初めには、屋久島町ではエコパーク推進協議会(仮)が発足し、口永良部を代表として、貴船 森さんが出席する予定です。島民説明会も開かれるはずで、国立公園の指定の時のように、用途別の地区割り(ゾーニング)の必要があり、島民の話し合いが必要になります。

## ウミガメ

10日間もウミカメが上陸せず心配しました。昨シーズンの今頃は24回も上陸していますから、今シーズンはやや少なめです。屋久島でも上陸が減っており、例年の3分の2のようです。

月日	時間	観察内容	天候・月齢など
6月9日	600-	上陸#16(産卵#14)	雨、月齢11
5月29日	600-	上陸#14(産卵#12)、上陸#15(産卵#13)	晴れ、月齢30
5月28日	600-	上陸#12(産卵#10)、上陸#13(産卵#11)	曇り、月齢29
5月26日	600-	上陸#9、10(産卵#8)、上陸#11(産卵#9)	曇り、月齢27
5月25日	600-	上陸#8(産卵#7)	晴れ、月齢26
5月23日	600-	上陸#7(産卵#6)	晴れ、月齢24、満潮8:42

「えらぶ年寄り組」は、今シーズンも、屋久島町から、ウミガメ保護・監視の業務を引き受けました。

## 英語版ポータルサイトが出来ました!!!

英語版へは、日本語版ポータルサイトからアクセスできます。<http://kuchi-erabu.org/eng/index.html>

英語教員の末吉紀久子先生にお願いして、英文を直していただきました。お礼申し上げます。